

# もりもり通信

vol.  
50



三瓶会場

新しく国立公園内の会場で

活動を始めました。



鳥取砂丘会場

## 山陰合同銀行の“森を守ろう”の取り組み

- 1 ごうぎんの役職員が実際に森林で汗をながし、森づくりに賛同する企業の輪を地域に広げる。
- 2 地方銀行の機能を活かした取り組みを川下(地方)から展開し、全国運動に広げる。





2022  
5.21

ごうぎん  
希望の森

大山

## 整備した追加会場での 秋のクヌギの植樹が楽しみ!



当日は、薄曇りで涼しく絶好の作業日和となりました。作業は下草刈り、ツル切りと追加会場の地寄せを行いました。皆が精力的に活動し、終了後には日が差す明るい会場となりました。追加会場では、秋にクヌギを植樹する予定です。森林保全活動で「林野庁長官賞」受賞が決定して初めての活動となり、その意義を感じながら気持ちの良い汗がかけました。



新入行員体験談

米子支店  
高井 響己

今回の森林保全活動を通して、私たちの地元である山陰地方には豊かで素晴らしい自然があることを再認識できたとともに、山陰地方の発展のため、より一層業務にも励みたいと思いました。また、この自然を守る活動が「陸の豊かさを守る」ことに繋がり、SDGsへの関心が高まりました。割り箸を使わない、エコバッグを使うといった日常の小さな取り組みから実践しようと思います。秋に行われる森林保全活動にも積極的に参加していきたいです。

活動概要 (西伯郡伯耆町丸山 0.8ha)

【参加者】

役職員・家族 76名  
行政・森林組合の皆さん 13名



ごうぎん  
希望の森

三朝

## 下草刈りでホタルの 生息にも貢献できました!

2022  
5.28



朝から晴れて暑い中、マスクで息苦しかったですが、随時休憩し日陰での作業に頑張りました。作業は下草刈りと遊歩道の整備で軽トラック2台分の草が集まり、看板周り、ホタルの生息する水路沿いが見違えるようにスッキリ綺麗になりました。

松浦三朝町長は農作業後にも関わらず、汗をかきながら最後まで下草刈りを懸命にされ、皆に手本を示してくださいました。会場付近では、6月に「ホタルまつり」が開催されますが、良いお手伝いにもなりました。



丸太、一刀両断!



新入行員体験談

倉吉支店  
武智 穂高

今回初めて、森林保全活動に参加しました。想像していたよりも険しい遊歩道を綺麗にしていくということで、とても大変でした。終わった後に自分たちが整備した道を見返すと、自然を満喫する誰かのためになっていると感じ気持ちよかったです。今後も、仕事の面だけでなくこうした活動を通して地域に貢献していきたいです。

活動概要 (東伯郡三朝町山田 2.0ha)

【参加者】

役職員・家族 51名  
行政・森林組合の皆さん 10名





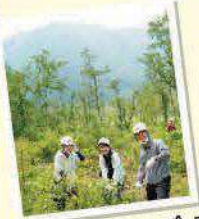
2022  
6.18



ごうぎん  
希望の森 **三瓶**

## 豊かな自然と眺めを満喫し 新会場での活動がスタート!

蒸し暑い天候でしたが、時々吹くそよ風と三瓶山の眺めの良さで気持ちの良い汗がかけました。作業は、下草刈りと残す芽を選別する芽かきで、大田市森林組合とNPO法人「緑と水の連絡会議」の方の指導のもと、混乱無くできました。途中には、沢山突っている甘い木苺を食べてホッとする時間があり、県立三瓶自然館サビメルの井上課長に「三瓶の自然と植物」で講話いただき、三瓶山の学習も出来ました。楯野大田市長にご挨拶いただき、皆での記念すべき初回写真は笑顔一杯でした。



三瓶山をバックに、ハイポーズ!



森の中の行進!



空気が美味しいです! 蜂の巣ではない!



活動概要(大田市三瓶町 6.9ha)

【参加者】

役職員・家族 59名  
行政・森林組合の皆さん 15名



新入行員体験談

大田支店  
小島 尚記

昨年の全国植樹祭の開催地で、国立公園である三瓶山での第1回目の森林保全活動に参加させていただきました。私自身は人生初の森林保全活動への参加であり新鮮な気持ちで臨みました。活動中は暑さも忘れ、木苺など山の恵みにも感謝しながら楽しく作業に取り組みました。活動後のすっきりした会場を見て三瓶山の自慢の自然を守らなければと強く感じました。今後も積極的に活動に参加し、地域・環境に貢献したいと思います。

ごうぎん  
希望の森 **鳥取砂丘**

## 雄大な景色の中、防砂林の育成に 気持ちの良い汗をかきました!

2022  
6.25

晴れの暑い天候でしたが、適度に風もあり、水分と塩分の補給に気を付けながら初めての活動を行いました。作業は、防砂林の松と養木であるグミの木の間の草取りで、奥深く根が張っていましたが、昨夜の雨で濡れた砂の中は作業しやすかったです。早朝から集まったの活動となりましたが、広大な砂丘の景色を眺ながらの作業は気持ち良く、数百kg?の除草成果があり達成感も感じられました。今日の活動で、森林保全活動全延人数が1万人を超えました。ヤッター!!



今日の作業の説明です。



活動概要(鳥取市福部町 1.0ha)

【参加者】

役職員・家族 75名  
鳥取砂丘未来会議の皆さん 4名



新入行員体験談

鳥取営業部  
遠藤 志乃

今回活動を行った鳥取砂丘は、コロナ禍で保全活動があまり行っていない状態だったと聞きました。これから観光客が増していく大切な時期に、鳥取を代表する観光地の保全活動に参加でき、とても嬉しく思います。自分が観光客として鳥取砂丘を訪れる際には、若木の様子も楽しみにしたいと思います。今回の保全活動は、地域貢献だけでなく、自分自身の地域愛を育むきっかけにもなりました。



NEWS  
01

## 新会場（鳥取砂丘、三瓶）の調印式を行いました。



### ごうぎん希望の森・鳥取砂丘

「鳥取砂丘保全再生アダプトプログラム（里親制度）」に基づき、鳥取砂丘未来会議と合意書を締結しました。年1回上期に、防砂林の下草刈りを実施していきます。



（左から）田中執行役員、鳥取砂丘未来会議 若松副会長

### ごうぎん希望の森・三瓶

島根県の「しまね企業参加の森づくり」制度に基づき、島根県、大田市、大田市森林組合と協定書を締結しました。三瓶山北の原で年2回活動し、環境学習も行います。



（左から）大田市 梶野市長、島根県 丸山知事、山崎頭取、大田市森林組合 林組台長

NEWS  
02

## 「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を2021年に環境省と締結しました。

これは国立公園の魅力等を発信し、国立公園利用者の拡大を図ることで、自然環境の保全への理解を深めるとともに、国立公園の所在する地域の活性化にも貢献していくことを目的としています。国立公園内にある「鳥取砂丘」「三瓶」の会場では、この目的に沿った活動を行っていきます。



国立公園  
オフィシャルパートナー

NEWS  
03

## 林野庁長官賞（優秀賞）を受賞しました！



林野庁が新たに創設した「森林×脱炭素チャレンジ2022」において、当行の森林保全活動が林野庁長官賞にあたる優秀賞を受賞しました。

グランプリを含め受賞団体は全10団体。金融機関では当行が唯一の受賞となりました。

今回、評価項目「山村地域の振興への貢献」において、当行の15年間におよぶ「ごうぎん希望の森」の活動と、地域の活動団体との連携・ネットワーク作りが高く評価されたものです。



（左から）林野庁 天羽長官、地域振興部 森部長（現ごうぎんエナジー経営管理部長）  
※木製銘板は林野庁 庁舎内に掲示



▲表彰状

副賞の盾▶

